

平成22年8月18日

京情協 地域情報化委員会(22年度 第3回) 議事録

開催日時:平成22年8月17日(火) 17:00~18:00

開催場所:京都コンピュータ学院駅前校 本館1Fインフォメーションルーム

参加者:小林、和田、福本、桧山、中川、桂田(順不同、敬称略)

配布資料:地域情報化委員会(第3回)議題、添付資料 ~

議事:

- ・22年度事業計画(添付資料)の進捗を確認するとともに、以下の検討を実施した。

【新春セミナー(講師の報告とテーマの検討)】 *添付資料

- ・講師が以下の通り確定した旨、委員長より報告があった。詳細は添付資料 参照。

【講師】杉本節子氏

【略歴】京都市生まれ。杉本家九代目の次女。

財団法人奈良屋記念杉本家保存会事務局長。料理研究家。

同家に伝わる暮らしとおぼんざいについて案内役と料理を担当する他、NHK「きょうの料理」などのTV番組への出演、料理本の執筆などの幅広い活動を通して、杉本家と京都に伝わる伝統を継承・発信している。

【補足】前回委員会後の懇親会にて木下氏より推薦があり、杉本氏に打診したところ快諾頂いた。

- ・杉本氏から提案頂いた講演テーマ・概要は以下の通りである旨、報告があった。

【テーマ】

・「京商家に伝わる食のならわし - 江戸時代の正月料理 - 」

【概要】

- ・杉本家は江戸期創業の呉服商で、他国店持京商人として江戸から明治、大正、昭和と繁栄した。
- ・千葉県に商品をうりさばく店(たな)を持ち手広く呉服物色々を商売し、京都には本宅兼本店を持った。このような商売形態が江戸時代の商売の理想形であった。
- ・杉本家は230年程前より現在の所在地で代々を重ねているが、現存する杉本家住宅(平成22年6月重要文化財指定)は、禁門の変で類焼の後、明治3年に再建された。
- ・杉本家には江戸期から書き伝えられた古文書が残されており、その中には暮らしの備忘録として家長とその家族の身近に備えられてきたものがいくつかある。そのひとつが「歳中覚(さいちゅうおぼえ)」である。歳中覚は正月に始まり一月から月を追って、年中行事とそれに関連する室礼、食事、ならわしなどが記されている。そこには、商家独特の質素儉約な食事のあり方が記されているが、それは現代の我々が想像する以上に儉しいものである。
- ・今回は、正月の頁をひもとき、江戸時代の京商家のハレがいかなる様子のものであったかを正月料理を中心にひも解いてみる。豊かな食に慣れ過ぎ、メタボリック症候群に悩まされる現代人には、おそらく、目からうろこが落ちるような、極めて自然な昔ながらの日本の食のスタイルがそこにある。食糧、ごみ、地球環境、健康など、我々が抱える問題は深刻なものであるが、江戸時代の先人たちの暮らしに、現代の問題解決のヒントがあるのではないか。京商家に伝わる食のならわしから考えてみる。

- ・杉本氏から提案頂いた講演テーマ・概要について委員に意見を募ったところ、概要については提案内容で良いが、講演テーマについては JISA への補助金申請の絡みもあるため、以下のような内容で杉本氏と調整する事を決定した。

【テーマ案】

- ・「京商家に伝わる食のならわし
- 江戸時代の先人たちの暮らしに学ぶ (ヒント的な言葉) - 」

- ・今後の予定を以下の通り確認した。
 - ・杉本氏とのテーマ調整
 - ・講演テーマ・概要の確定 (JISA への補助金申請向け)
 - ・JISA への補助金申請 ... 9月第1週目まで

【 .採用支援セミナー (テーマの検討) 】

- ・セミナー候補日を以下の通り確定した。時間は昨年同様 16:30 ~ 18:30 の予定。
 - 【第1候補日】11月16日 (火)
 - 【第2候補日】11月30日 (火)
- ・まずは日付を確定するために、担当である桧山氏が講師のマイコミ山本氏に上記候補日で OK かどうか確認して頂く。
- ・セミナーテーマについては今後、山本氏 (場合によっては岡氏との2名体制) に相談する。

【 .その他 】

IT コンソーシアム京都の5部会のうち、医療情報部会が7月22日に第1回部会を開催、相原氏が出席された。当部会の議事録はすでに相原氏より提出して頂いているが、本日欠席されているため、次回に当人より報告して頂く。

和田氏より ANIA 広島大会に地域情報化委員会が参加してはどうかの提案があった。参加するかどうは正副委員長会で検討することとする。

以上